

【別紙様式 3】

再評価実施事業調査書

番号	1	事業名	道路事業		路線又は箇所名等		国道 126 号 八木拡幅		
事業所管課		道路整備課		事業主体			千葉県		
事業化年度	平成 18 年度	用地着手年度	平成 19 年度	工事着手年度 工事終了(認可)年度	平成 20 年度 令和 16 年度	再評価の理由	再々々評価		
費用便益比 B/C	1.1 (3.7)	総費用	90 億円 (26 億円)	総便益	97 億円 (97 億円)	基準年	令和 6 年度	供用開始 年度	令和 16 年度

※上段：全体事業 下段（ ）：残事業

<p>【事業概要】</p> <p>国道 126 号八木拡幅は、銚子市三崎町から旭市八木までの約 5.7 km の事業であり、現国道 126 号の交通混雑緩和、線形不良による事故多発区間の改善、幅員狭小区間における歩行者の安全性の確保のほか、利便性の向上による地域活性化に大きく寄与するものである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総事業費：85 億円 ・事業延長：L=5.7km 														
<p>【事業の進捗状況】（令和 6 年度末見込み）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>全体計画(億円)</th> <th>投資事業費(億円)</th> <th>残事業費(億円)</th> <th>進捗率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全体</td> <td>85</td> <td>60</td> <td>25</td> <td>70%</td> </tr> </tbody> </table>						全体計画(億円)	投資事業費(億円)	残事業費(億円)	進捗率	全体	85	60	25	70%
	全体計画(億円)	投資事業費(億円)	残事業費(億円)	進捗率										
全体	85	60	25	70%										
<p>【社会経済情勢等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現道の国道 126 号では、飯岡バイパス東口交差点、小浜工業団地入口交差点及び三崎町二丁目交差点の 3 箇所において、旅行速度が 20km/h 以下となっている。 ・銚子市小浜町や三崎町付近において死傷事故率が高い。事故類型は追突事故が約 6 割であり、県内の国道平均の約 1.5 倍となっている。また、歩道未整備区間が存在し、安全性上問題がある。 														
<p>【対応方針（案）】</p> <p>継 続</p> <p>費用便益比（B/C）が事業全体で 1.1、残事業で 3.7 であることから、費用対効果が見込まれる。整備効果として、交通の転換による現道部の交通円滑化、交通混雑緩和による事故の減少のほかに、救急医療機関への移動時間短縮・走行性向上による地域医療サービスの向上、緊急輸送道路の機能強化、圏央道へのアクセス時間短縮による農水産物の輸送効率化などが期待される。事業を継続し、効果の早期発現を目指す。</p>														

【別紙様式 4】

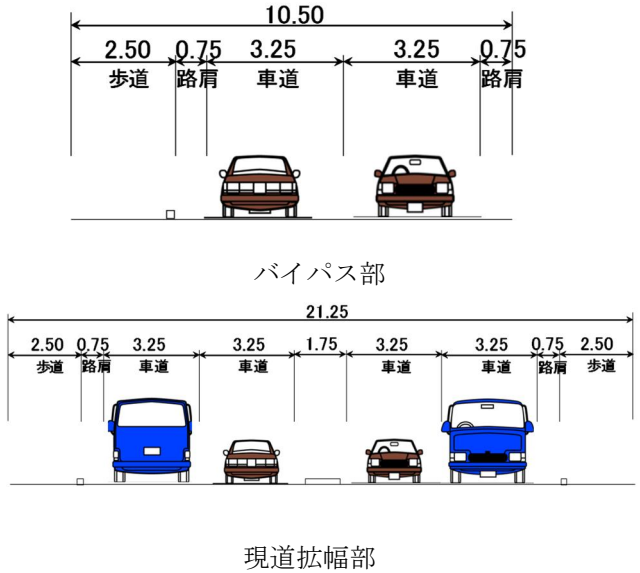
事業概要図

番号	1	事業名	道路事業	路線又は箇所名等	国道126号 八木拡幅
----	---	-----	------	----------	----------------

位置図



標準横断図



平面図



【別紙様式 5】

再評価事業に関する調書

番 号	1	事 業 名	道路事業	路線又は箇所名等	国道 126 号 八木拡幅
事業化年度	平成 18 年度	用地着手年度	平成 19 年度	工事着手年度	平成 20 年度
【再々評価（R3 年度）の概要】					
事前評価実施年度 （基準年）	令和 3 年度	供用開始年度	令和 13 年度	対応方針	継続
B / C	1.1 (2.3)	総費用	57 億円 (28 億円)	総便益	62 億円 (52 億円)
<p>(※上段：全体事業 下段 ()：残事業)</p> <p>事前評価時の委員会の意見及び当時の状況 ・継続することが妥当である。</p>					
再評価時の進捗状況及び再評価時想定の 5 年後の進捗状況					
	計 画	進捗状況 (R3 末見込み)	5 年後の想定進捗状況		
全体事業費	55 億円	26 億円 (47%)	46 億円 (84%)		
用地取得面積	143,005 m ²	110,063 m ² (77%)	128,106 m ² (90%)		
供用面積 (延長)	5.7km	—	—		
【再々々評価（R6 年度）の概要】					
再評価実施年度 （基準年）	令和 6 年度	供用開始年度	令和 16 年度	対応方針	継続
B / C	1.1 (3.7)	総費用	90 億円 (26 億円)	総便益	97 億円 (97 億円)
<p>(※上段：全体事業 下段 ()：残事業)</p> <p>現在の進捗状況</p>					
	計 画	進捗状況 (令和 6 年度末)			
全体事業費	85 億円	60 億円 (70%)			
用地取得面積	143,005 m ²	111,809 m ² (78%)			
供用面積 (延長)	5.7km	—			
再評価後の経過及び処理状況	<ul style="list-style-type: none"> ・令和 6 年度 再評価(継続が妥当である) ・引き続き、事業の早期完了を目指す。 				